

WITH

～認め合おう、知り合おう、医療と介護～



令和6年2月発行

発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター

共同で発行しています！

認知症に関するさまざまな情報をお届けします。

●●●認知症の本人や家族の社会参加の場●●●

本人や家族が安心して参加できるさまざまな場所があります。その一部をご紹介します。

チェック

『集う』 認知症カフェや本人・家族交流会 等

認知症の人や家族、地域住民、専門職等、誰もが気軽に集い、楽しく過ごしながら仲間づくりや情報交換を行う集いの場です。市内各所に「なごや認知症カフェ」が開設されています。



なごや認知症カフェの様子

同じような立場の人同士が出会い、仲間をつくり、支え合う『ピアサポート』の輪が、認知症の人や家族の間でも広がってきました。認知症高齢者だけでなく、若年性認知症の人に特化した集いもあります。

チェック

『協働する』 本人ミーティング 等

認知症の人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場です。

名古屋市では、すでにいくつかの区で行われています。

認知症相談支援センターでは、『トイプードルの会』を開催し、企業の商品づくりやサービスなどへの提案を行っています。



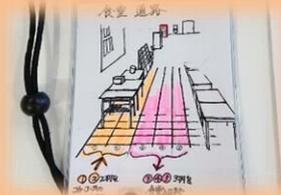
厚生労働省(2017)

チェック

『働く』 障害者雇用枠での一般就労の継続 福祉的就労 等

一般就労中に認知症を発症した後、障害者職業センターや障害者就業・生活支援センターなどのサポートを受け、障害者雇用枠で働き続ける人も増えてきました。65歳未満の若年性認知症の人には、専門の相談に応じる『若年性認知症支援コーディネーター』が、認知症相談支援センターに配置されています。

一般就労が困難になった場合でも、就労継続支援事業所などの障害福祉サービスを使って「働きたい」というニーズをかなえる人も出てきました。屋内での組み立て作業だけではなく、お弁当やパンを作ったり、農作業に従事したりと様々な職場があり、事業所に配置された支援員のサポートを受けながら安心して働くことができます。



就業する時の工夫のメモ



就業継続支援事業所(農作業)

メモ

集ったり、働いたりなどの社会参加を続けることは、病気とともに前向きに生きていくために大切なことだと言われています。利用等については、認知症相談支援センター(☎052-734-7079)もしくは、お近くのいきいき支援センターまでお尋ねください。

認知症コラム No.23 「アルツハイマー病の新薬について」

名鉄病院 認知症疾患医療センター長 宮尾 眞一



この原稿を書いている今日（令和5年12月20日）、アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬レカネマブ（レケンピ®）が使用可能となりました。対症療法薬であるドネペジルから20年以上たつてようやく原因を取り除く薬の登場です。ドネペジルが出たときの熱気は今でも忘れられませんが、レカネマブの登場はそれ以上のインパクトがあります。ただ、この薬剤に対する過大な期待と誤解もあるため正しく理解する必要があります。1年半の投与で対照に比べ認知機能の低下が27%抑制される効果がありました。これはMCI（軽度認知障害）から認知症軽度までの進行を2.5年遅らせることに相当するそうです。原因物質を除去するため長期的効果も期待され、今後の報告が待たれます。現在ある症状を改善する効果は期待できず、あくまでも進行抑制であることは留意すべきです。

一方、使用にさまざまなハードルがあります。PET（陽電子放出断層撮影）または髄液検査でアミロイド蓄積を証明する必要があり、アルツハイマー病によるMCIまたは認知症軽度のみが対象のため、自覚症状だけのひと、あるいは認知症が中等度以上のひとには投与できません。MRI（磁気共鳴画像）で一定以上の出血性病変があるひとにも投与できません。価格も高額で、実費で年間300万程度かかります。保険は適応されますし、高額医療制度も利用できますが、それでもかなりの高額になります（年齢や所得により負担は違います）。また特殊な副反応であるARIA（アミロイド関連画像異常）と言われる脳浮腫や脳出血がみられることがあります。多くは無症状（あるいは軽症）ですが投与をいったん中断する場合があります。このため定期的にMRIを行う必要があります。

治療には施設基準があり、どの医療機関でも投与できるわけではありません。希望しても使えない可能性もあり、われわれ医師はレカネマブを使えないひとにもベストな治療ができるようにさらに研鑽を積んでいく必要があると肝に銘じています。期待と不安が入り乱れている薬ですが、画期的であることは間違いなく、アルツハイマー病の方の希望につながるものと信じています。



名古屋市認知症相談支援センター
マスコットキャラクター



あゆ

ゆみ



名古屋市認知症相談支援センター 認知症の人本人と
YouTube チャンネル 家族の語りをご覧ください



▶ 名古屋市認知症相談支援センターYouTubeチャンネルでは『認知症とともに歩む人のまなざし 本人と家族の語り』というタイトルで、ご本人やご家族が自らの体験を語る声を届ける場として現在、本人：5本、介護している家族：13本の動画を配信しています。ご興味ある方は、是非ご覧ください。✿✿✿

認知症に関する情報や相談窓口はこちら

☎ 電話から

認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談

◆名古屋市認知症コールセンター ☎052-734-7089

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談

◆名鉄病院 ☎052-551-2802 ◆まつかげシニアホスピタル ☎052-352-4165

◆もりやま総合心療病院 ☎052-795-3560 ◆八事病院 ☎052-832-2181

🖥 パソコン・スマートフォンから

キーワード検索

なごや認知症あんしんナビ

検索



◆名古屋市の認知症情報◆

→名古屋市ウェブサイト トップページ →暮らしの情報 →

→高齢者 →認知症施策 →認知症の方や家族を支援する取り組み

④名古屋市 City of Nagoya

トップページ

暮らしの情報